

継続すれば益々町の負担が増大する懸念があり早急に抜本的な改革が必要である。

当面、本施設を休止し組織の再構築や生産品目の選定など専門的な研究組織を立ち上げて検討すべきであると考ええる。



▶ 舞茸生産出荷施設(発生産施設)

(単位:千円)

(有)奥出雲サンマッシュ			H15	H16	H17
	【設立年月日】 H1.6 【資本金】 11百万円 奥出雲町: 5.5(50%) (株)ニッポー: 2.5(23%) 仁多郡森林組合: 2(1.8%) 舞茸生産組合: 1(9%) ※決算月5月(6/1~5/31)	流動資産		17,114	8,772
	固定資産		236,963	216,483	200,260
	流動負債		3,446	2,486	5,009
	固定負債		251,617	234,646	245,144
	売上高		61,010	50,583	41,170
	資本金		11,000	11,000	11,000
	累積損失(当期損失)		△12,165(2,621)	△23,056(△10,891)	△44,796(△21,740)
	町からの補助金等		7,269	10,584	10,584
	町への寄付金		0	0	0

⑧ 株式会社

アメニティよこた

経営する「交流館三国」「道の駅」は、本町の東の玄関としてレストランや観光案内、特産品の販売を行っている。経営状況については、旅行代理店等への営業努力を行っているものの利用者は横這い傾向であり良好とは言えない。

また、町が負担している委託料は町の財政状況も厳しい中では負担すべきではなく、あくまでも独立採算を基本に一層経営の効率化に努められたい。

又、施設全体の機能が周辺環境、立地条件が十分活かされておらず、特に利用者の減少する冬期間の対策の検討が必要である。尚、「奥出雲おろちループ道の駅」については第三セクターとは別の会社による経営の二重構造となっており、ことから、早急に指定管理者制度の活用により一本化することが望ましいと考える。



▶ 「奥出雲おろちループアメニティよこた」

(単位:千円)

(株)アメニティよこた			H15	H16	H17
	【設立年月日】 H5.12 【資本金】 30百万円 奥出雲町: 10(33%) (有)絲原山林: 5.5(18%) 横田町商工会: 3(10%) 山陰合同銀行: 1.5(5%) 労働金融公庫: 1(3.3%) しまね信用金庫: 1(3.3%) ホシザキ電機(株): 1(3.3%) その他: 7(約24%) ※決算月3月(4/1~3/31)	流動資産		47,521	44,190
	固定資産		7,998	7,136	6,632
	流動負債		9,593	5,849	6,999
	固定負債		5,512	4,809	4,640
	売上高		85,927	80,708	74,174
	資本金		30,000	30,000	30,000
	累積利益(当期損益)		6,314(78)	6,568(255)	3,544(△3,025)
	町からの補助金等		19,130	13,402	13,498
	町への寄付金		0	0	0